

かかりつけ薬剤師普及追記 骨太方針を閣議決定

政府は6月18日、「経済財政運営と改革の基本方針2021」(骨太方針)を臨時閣議で決定した。多剤・重複投薬の取り組みを進める上で、原案にはなかった「かかりつけ薬剤師・薬局の普及を進める」と盛り込んだ。薬価制度の透明性や予見性の確保、バイオシミラーの適正化効果を踏まえた目標設定を検討することも記載した。

骨太方針では、社会保障改革として薬価制度のあり方に言及。革新的医薬品のイノベーションを評価する観点とそれ以外の長期収載品目について、透明性と予見性の確保に留意しつつ、評価の適正化を行う観点から薬価算定基準の見直しを図るべきとした。

O T C 類似医薬品等の既収載品目の保険給付範囲については、引き続き見直しを行う必要があるとした。

後発品に関しては、23年度末までに数量シェアを全都道府県で80%以上とする新目標について検証を行うよう明記した。品質と安定供給に関する信頼性確保、バイオシミラーの医療費適正化効果を踏まえた目標設定の検討、新目標との関係を踏まえた後発医薬品調剤体制加算の見

直し、フォーミュラリーの活用など、後発品の使用促進に向けた検討を進めるよう求めた。

また、「かかりつけ薬剤師・薬局の普及を進める」と新たに追記したほか、多剤・重複投薬の対策も強化する。症状が安定している患者については、医師と薬剤師が適切に連携することで、医療機関に行かなくても一定期間内に処方箋を反復利用できる方策を検討し、通院にかかる負担を軽減することも必要としている。

医薬品サプライチェーンの実態を把握すること、非常時における買い上げ等の導入など、緊急時に対応可能な医薬品の供給体制確立を図ることも必要とした。

女性活躍を促す施策として、処方箋がなくても避妊薬を薬局で適切に利用できるよう、年度内に検討を始めて国内外の状況を踏まえながら議論を進めることとした。

コロナ禍を踏まえた感染症対策も盛り込んだ。新興感染症に備え、国産ワクチンの開発促進に向けた「ワクチン開発・生産体制強化戦略」を着実に推進し、必要な取り組みの財源を安定的に確保すべきとした。

(2021年6月21日掲載)

厚生労働省は、薬剤師の需給動向把握事業における調査結果を公表した。それによると、薬局薬剤師の平均年収は488万円、病院薬剤師の平均年収は512万円であり、薬局薬剤師の29.0%、病院薬剤師の35.7%が奨学金を利用していることが明らかになった。薬局薬剤師では奨学金の平均額が461万円となり、特に6年制で利用率が高いことも分かった。

調査は、薬剤師の業務実態や働き方などを把握するために実施したもの。薬剤師の充足人数を尋ねたところ、薬局では「適切な人数を確保できている」との回答が60.5%と最も多く、「適切な人数より不足している」との回答は19.4%となった。

一方で、病院では「適切な人数を確保できている」との回答が38.2%にとどまり、「適切な人数より不足している」が50.5%と半数に上

奨学金利用、薬剤師の3割

平均年収は500万円に

った。実際、薬剤師の募集について、2019年1月から12月における常時募集、定期募集の状況を見たところ、薬局では常時募集の実施割合が26.6%、定期募集は13.7%だったのに対して、病院では常時募集の実施割合は40.2%、定期募集も27.5%と薬局に比べて高かった。

特に、病院において19年4月から20年3月の1年間に臨時に薬剤師を募集した薬局は28.9%あり、このうち3カ月以内に応募があった割合は35.6%だった。臨時募集の理由は「常に欠員が生じている」との回答が47.5%と最多で、病院薬剤師が不足している状況がうかがえた。

また、薬局薬剤師の年収を見ると、「500～600万円未満」が21.6%と最も多く、次いで「600～700万円未満」が17.9%、「700～1000万円未満」が14.8%と続いたが、平均では488万円となった。

病院薬剤師の年収は「400～500万円未満」が29.7%と最も多く、次いで「500～600万円未満」が25.7%、平均は512万円となった。

また、薬局薬剤師の29.0%が奨学金制度を利用しており、大学課程別では4年制が23.4%、6年制が45.8%と、6年制課程での利用率が高いことが明らかになった。

(2021年6月9日掲載)

薬剤師の職域拡大に期待

こんにちは。メディセレのしゃっちゃん、児島恵美子です。

私は2008年にワシントン州立大学薬学部で少し勉強したことがあります。そこでアメリカの薬剤師が注射するきっかけをつくったドン教授のお話をうかがってから、「日本の薬剤師も注射ができるようになろう」と機会があれば発言してきました。そのたびに教育、法律、権利、職域の壁に直面しました。

コロナワクチンの国内接種開始が見え始めた今年の春にはチャンスだと思い、「自治体単位で、地域の特例で薬剤師が接種できるようにならないか」と発言し、色々な方から賛否両論をいただきました。実際にワクチン接種が

国試予備校の現場から

始まると、薬剤師が薬液の希釈や充填の手伝いとして脚光を浴び始めました。「もう一声、『接種もしてください』との依頼が来ないかしら」と非常にワクワク感を持って、薬剤師の職域が広がるかもしれない歴史的状況を見守っています。

歯科医師がコロナワクチンの接種に協力していますが、普段、注射をしていない歯科医の友人は「習うより慣れろだわ」と感想を述べました。現実はそうだと思います。獣医師の友人は「暴れる動物に日々注射をしているのだから慣れているし、手伝うのに。厚生労働省ではなく農林水産省の管轄だから声はかからないのかな…」と言っていました。

アメリカやカナダの薬剤師の職域は日本より広いです。処方箋だけ、O T C だけに特化することはなく両方の知

識を持ち、ワクチンの接種も実施しています。処方箋上の薬物の用法や用量は、医師へ疑義照会することなく、薬剤師が独断で変更できます。薬剤師国家試験は処方提案などのケーススタディが中心で、物理などはなく、臨床の問題に終始しています。大学のカリキュラムではコミュニケーション学に重きが置かれていました。

国家試験は薬学教育の集大成です。国家試験から変わらないと教育は変わらないのではと思っています。今回のコロナ禍対応から今後、感染症や感染対策、ワクチン、医薬品の開発や承認、注射剤の取り扱いなどが国家試験に出題されると予想されます。でも、もうひと変化、欲しいです。これらの変化が薬剤師不要論を吹き飛ばすきっかけになればと思います。



メディセレスクール
社長

児島 恵美子

臨床で役立つ知識が身につく！

基礎からの漢方薬

第4版

【医療用漢方製剤
構成生薬解説】

「漢方医学」、「漢方の基礎理論」、「調剤、服薬指導」、「生薬・方剤」などを図表やカラー写真を多数使い、わかりやすく解説しています。

著 金 成俊 / B5判 / 340頁 / 定価 5,000円 + 税 / 5月初旬発売

書籍のご注文は、お近くの書店または薬事日報社オンラインショップ (<https://yakuji-shop.jp/>) まで。

